

## V 集計結果（市民活動団体）

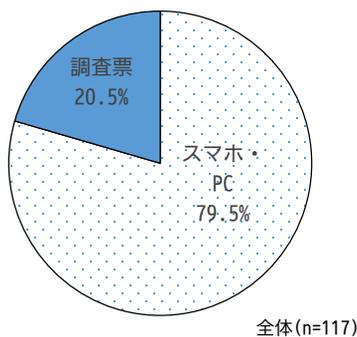
### 調査の設計

- ◆ 調査対象：郡山市市民活動サポートセンター登録団体・個人
- ◆ 標本数：358件（団体300、個人58）（2024（令和6）年8月1日時点）
- ◆ 調査方法：郵送による調査票の配布・回収、インターネットでの回答
- ◆ 調査期間：2024（令和6）年8月1日～9月30日（61日間）
- ◆ 調査項目：①団体・個人について…16問  
②協働のまちづくりについて…9問

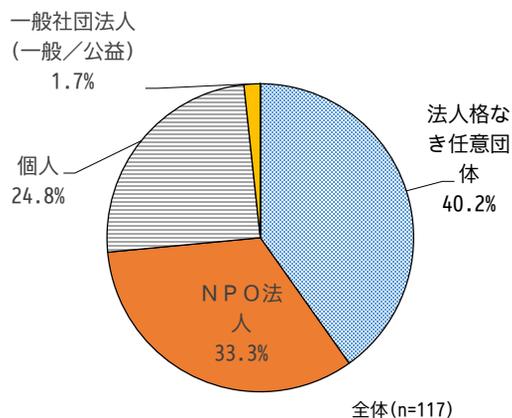
### 回収結果・回答者の属性

- ◆ 発送数：358件
- ◆ 有効回収数：117件
- ◆ 有効回収率：32.7%

#### ◆ 回答方法別



#### ◆ 団体種別（問1）

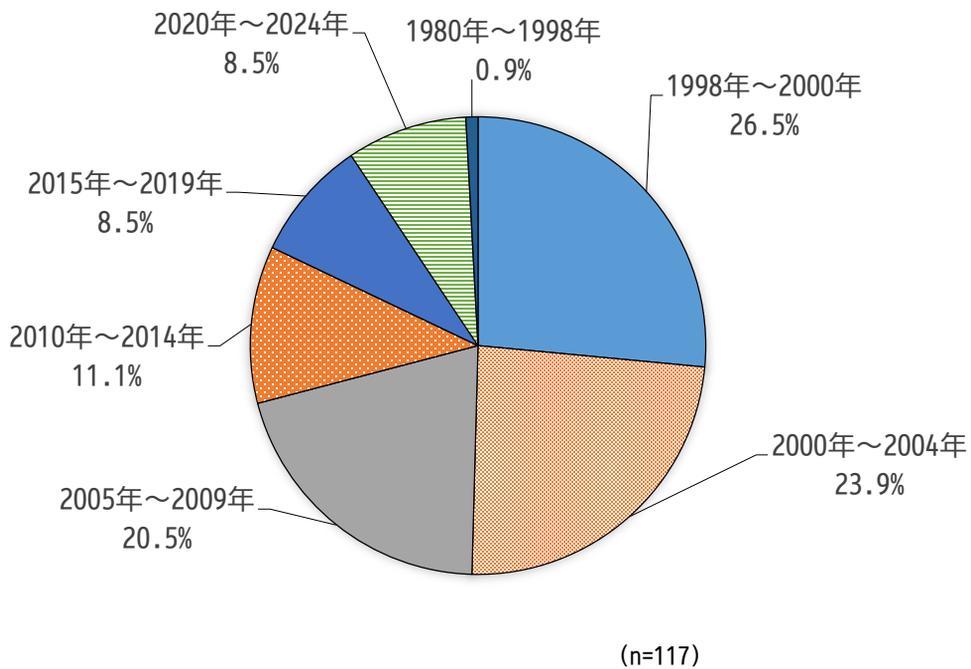


※構成比は、端数を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

問2

活動を始めた時期を教えてください。

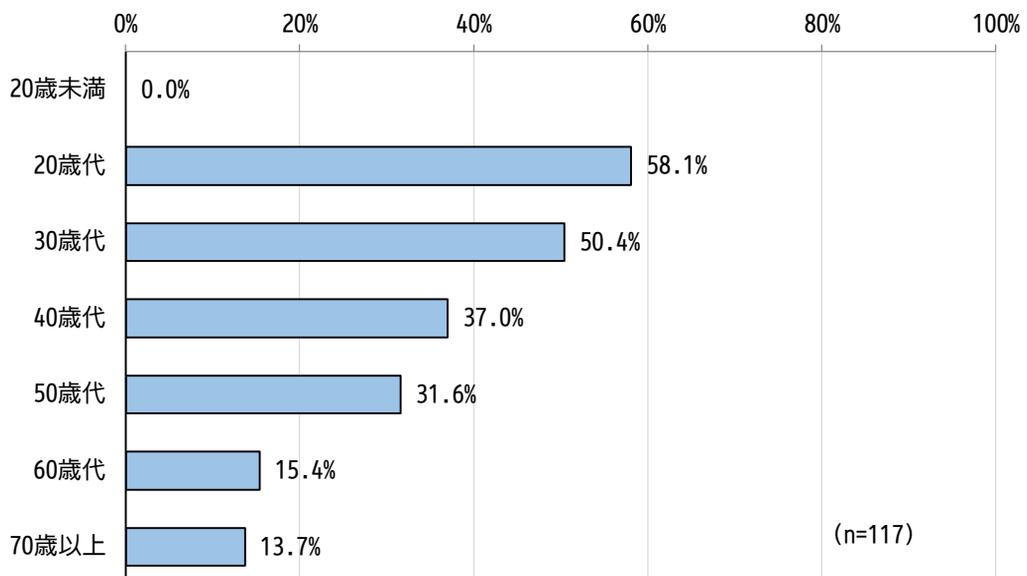
3割弱の団体（個人）が「1998年～2000年」から活動を始めています。



問3

どの年代の方が中心に活動していますか？（複数選択可）

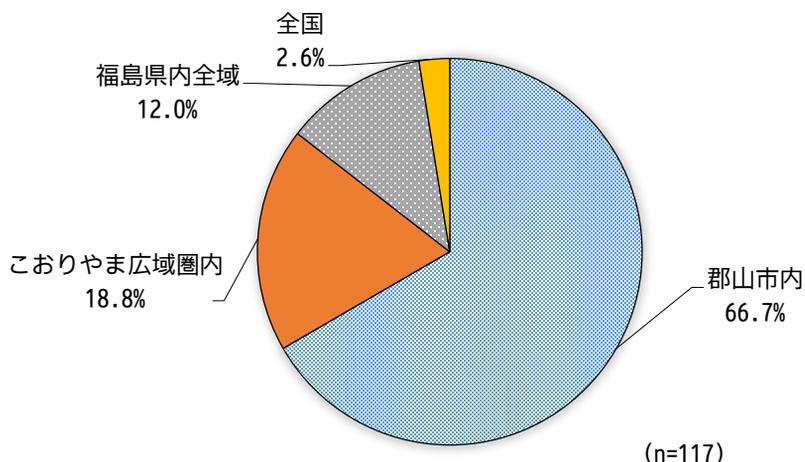
6割弱の団体（個人）で「20歳代」が活動しています。



問4

主な活動の対象地域を教えてください。

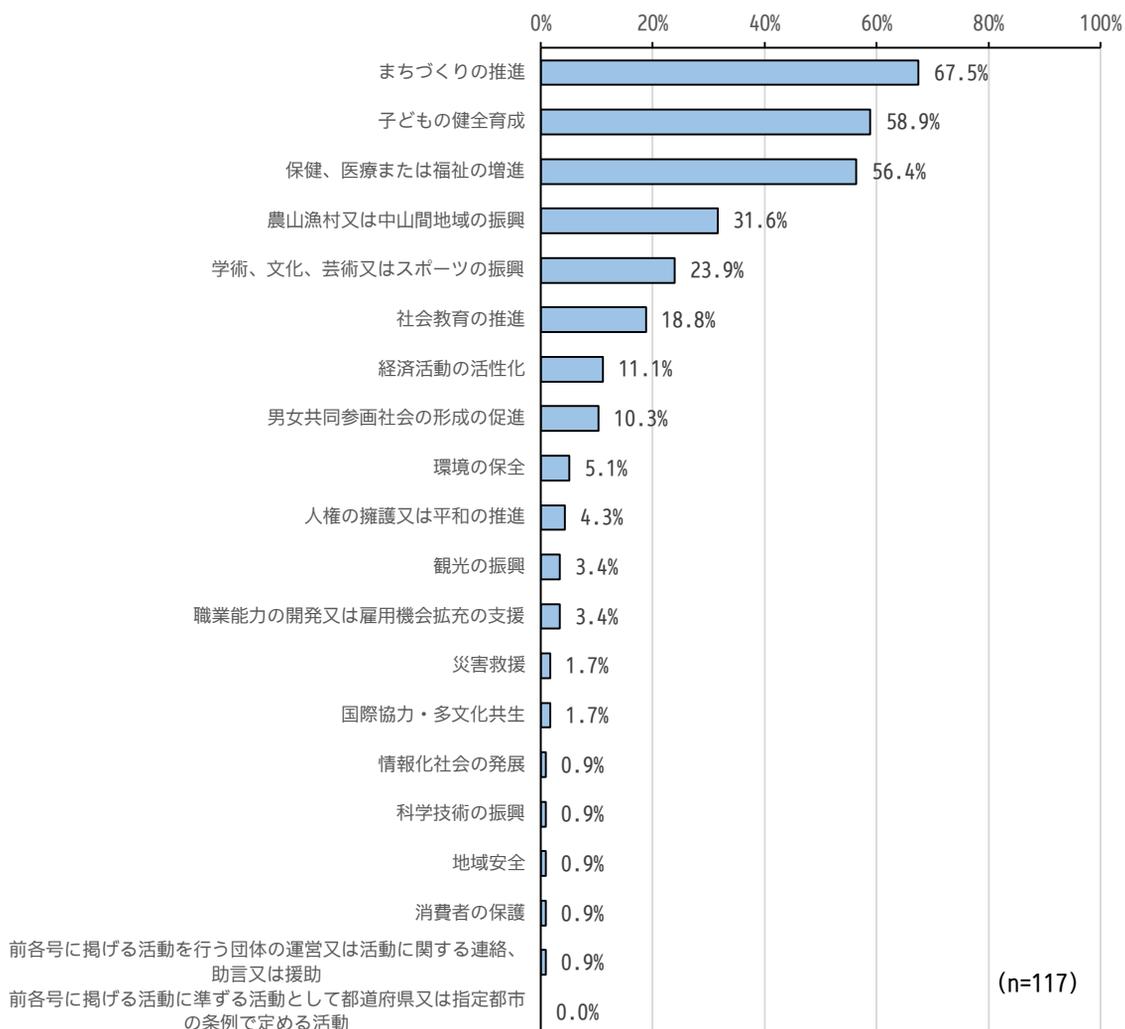
7割弱の団体（個人）が「郡山市内」で活動しています。



問5

主な活動の分野を教えてください。（複数選択可）

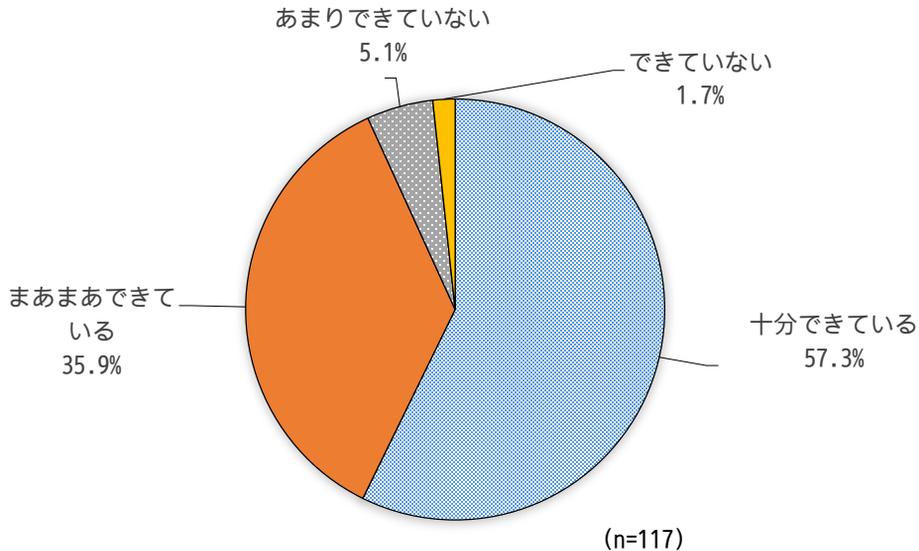
7割弱の団体（個人）が「まちづくりの推進」と回答しています。



問6

## 現在、活動が十分にできていますか？

9割強の団体（個人）が「できている」と回答しています。

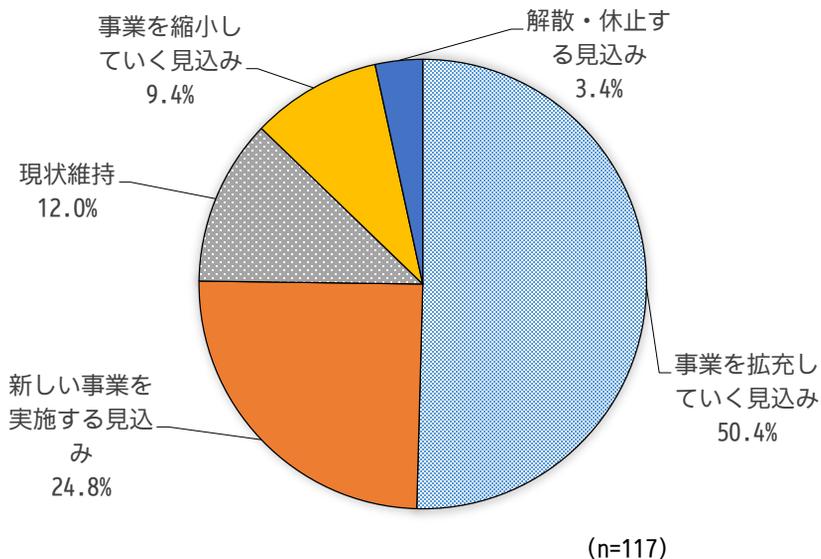


「十分できている」57.3%、「まあまあできている」35.9%を合計すると93.2%となります。

問7

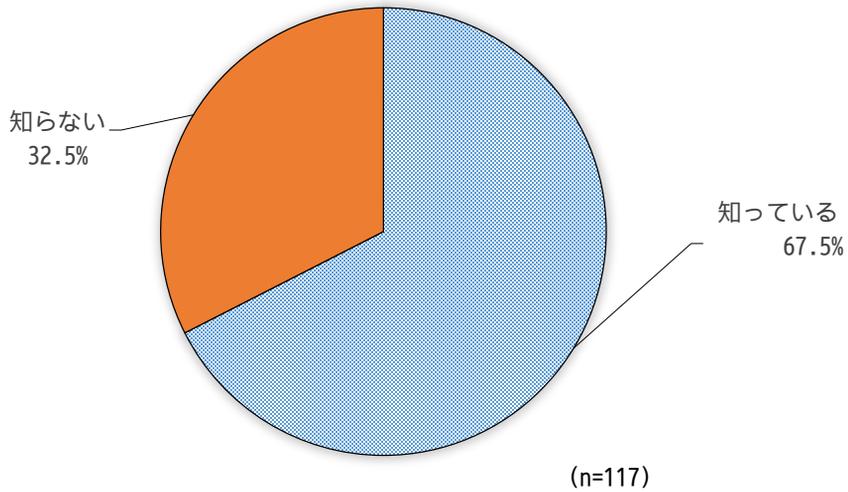
## 今後の活動の方向性を教えてください。

半数の団体（個人）が「事業を拡充していく見込み」です。



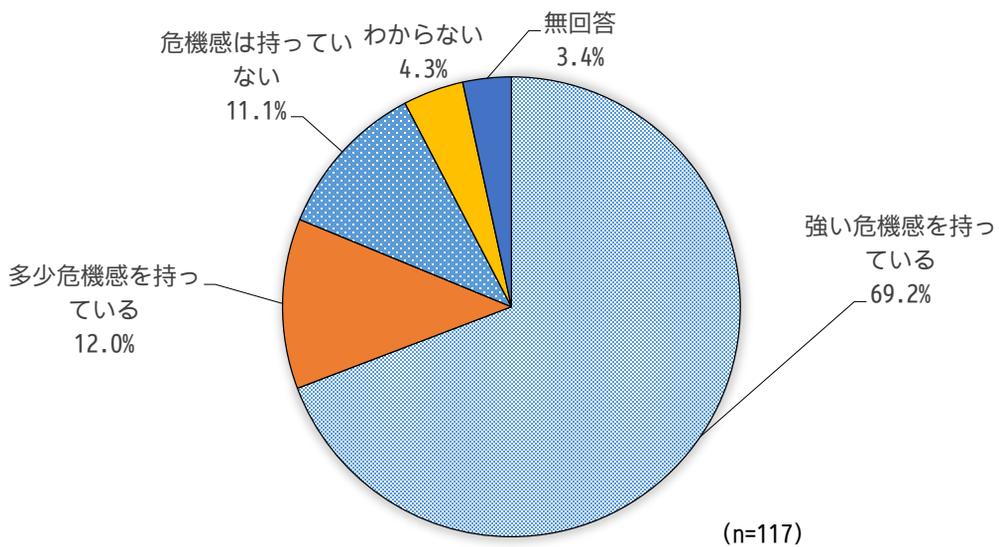
問8 「郡山市の出生数：1985(昭和60)年4,000人超→2022(令和4)年2,000人割る」  
このことをご存知でしたか？

7割弱の団体（個人）が「知っている」と回答しています。



問9 少子高齢化・人口減少をどう受け止めていますか？

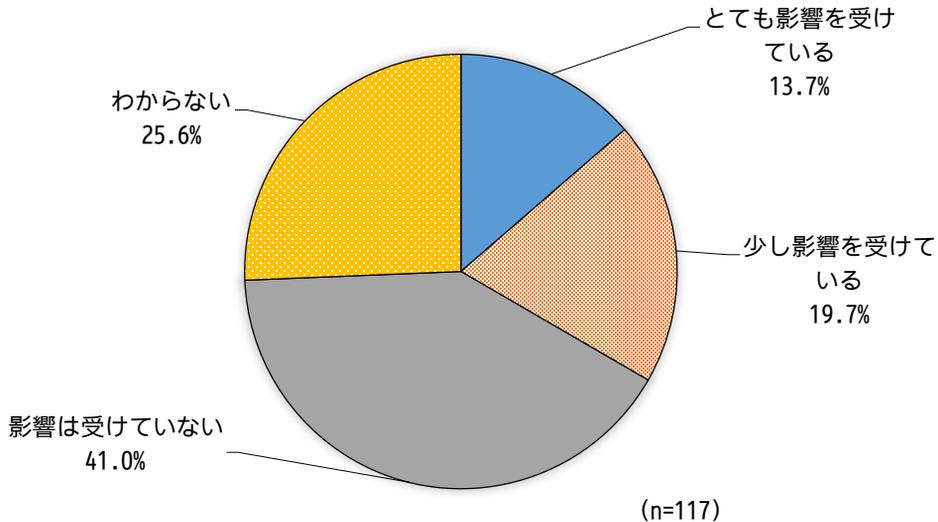
8割の団体（個人）が「危機感を持っている」と回答しています。



「強い危機感を持っている」69.2%、「多少危機感を持っている」12.0%を合計すると81.2%となります。

問10 少子高齢化・人口減少の影響を受けていますか？

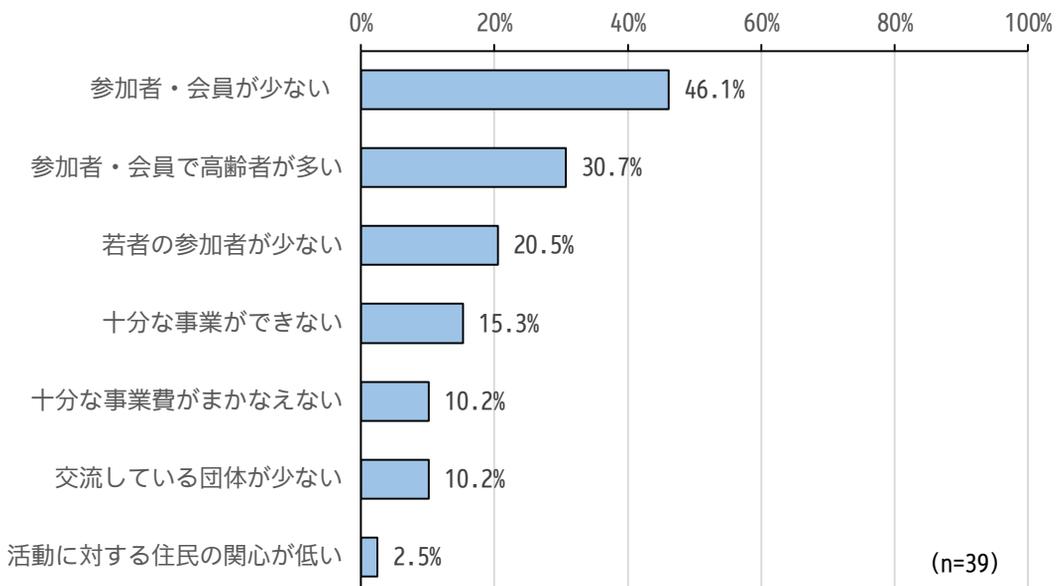
3割強の団体（個人）が「影響を受けている」と回答しています。



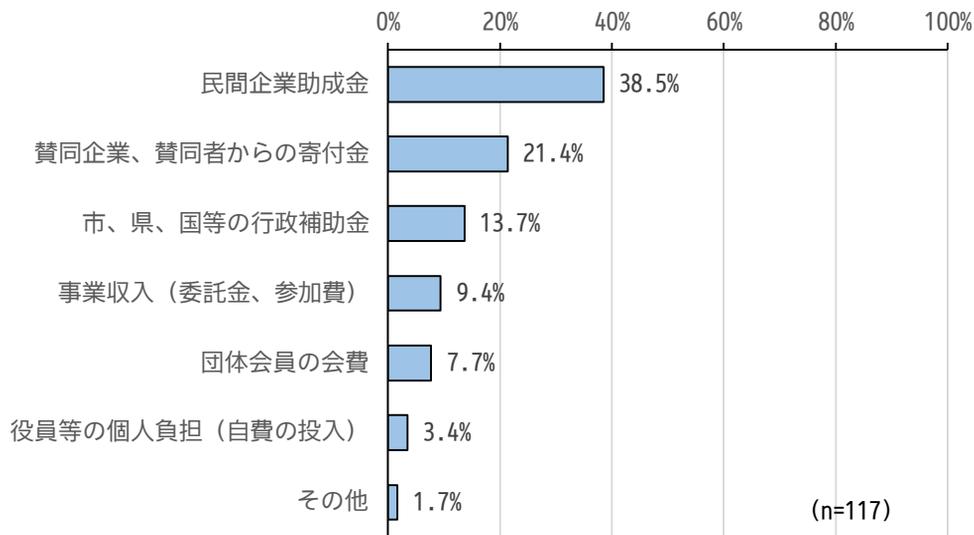
「とても影響を受けている」13.7%、「少し影響を受けている」19.7%を合計すると33.4%となります。

問11 問10で、影響を「とても受けている」「少し受けている」と回答した市民活動団体について具体的にどのような影響を受けていると感じますか？（複数選択可）

5割弱の団体（個人）が「参加者・会員が少ない」と回答しています。



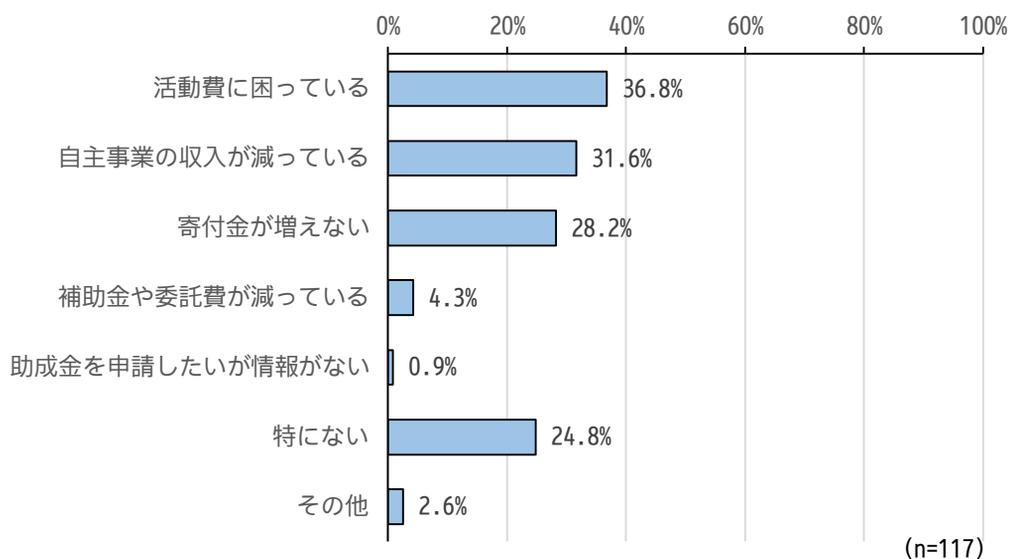
4割弱の団体（個人）が「民間企業助成金」と回答しています。



【その他】の主な内容

- 委託事以外の事業がない
- イベントでの祝い金

4割弱の団体（個人）が「活動費に困っている」と回答しています。

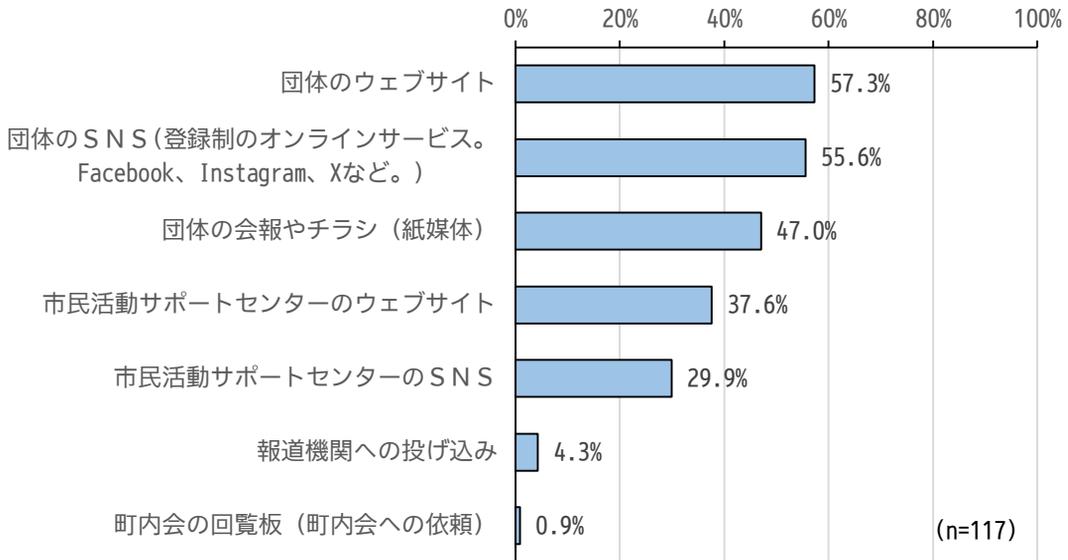


【その他】の主な内容

- より良い広報
- ボランティアの拡充
- 助成金や寄附金に頼らざる得ないため、毎年その申請手続き等が大変

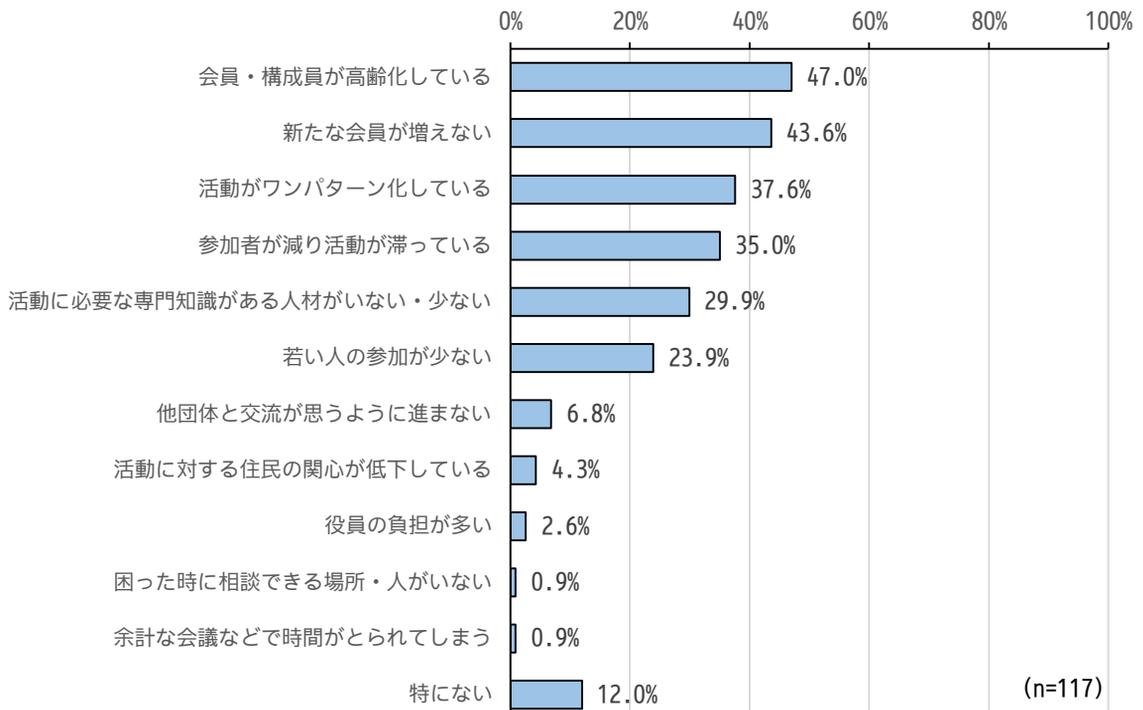
問14 活動の情報発信手段として何を利用していますか？（複数選択可）

6 割弱の団体（個人）が「団体のウェブサイト」と回答しています。



問15 人材や組織に関する課題・悩みは何ですか？（複数選択可）

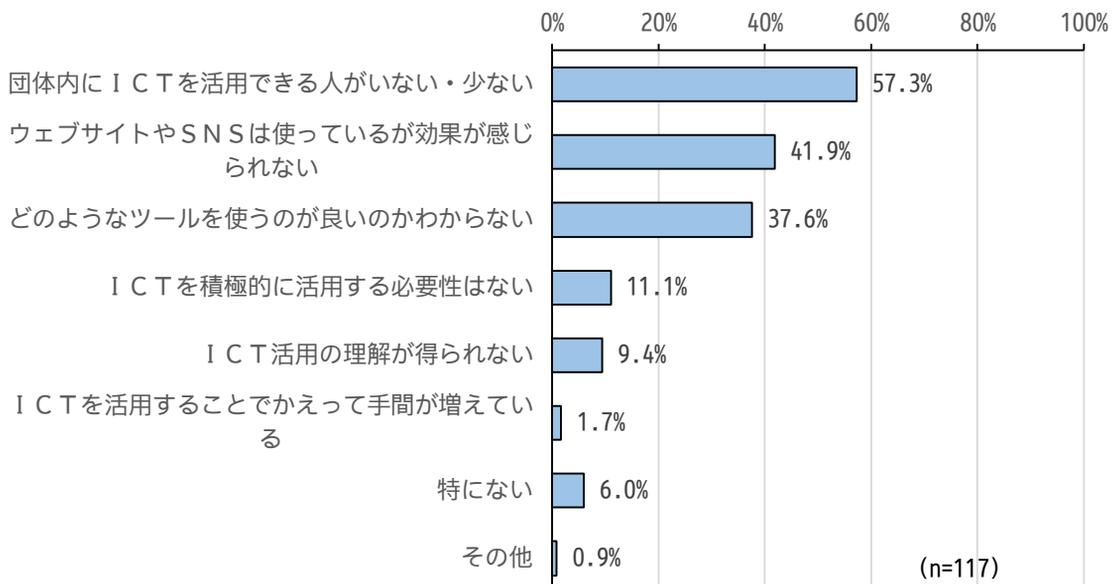
5 割弱の団体（個人）が「会員・構成員が高齢化している」と回答しています。



問16

## ICT活用に関する課題・悩みは何ですか？（複数選択可）

6割弱の団体（個人）が「ICTを活用できる人がいない・少ない」と回答しています。



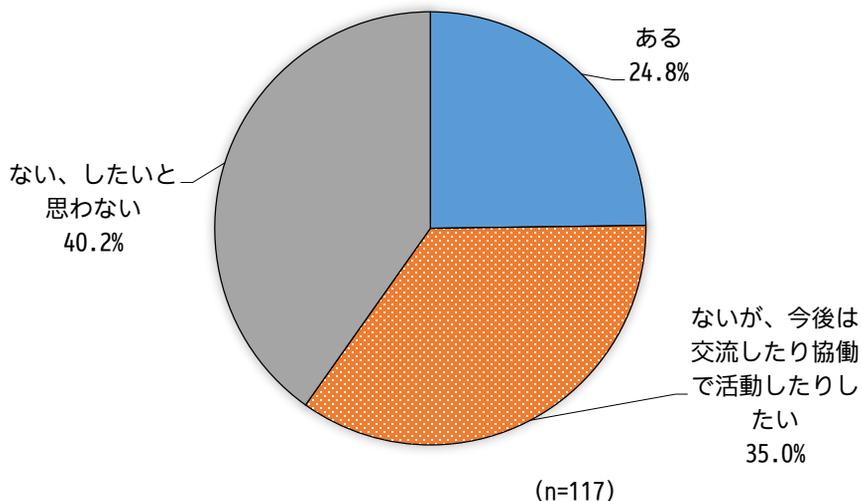
【その他】の主な内容

- SNS等の更新する人材がない

問17

## 他の団体や行政（市）と交流したり協働で活動したりしたことはありますか？

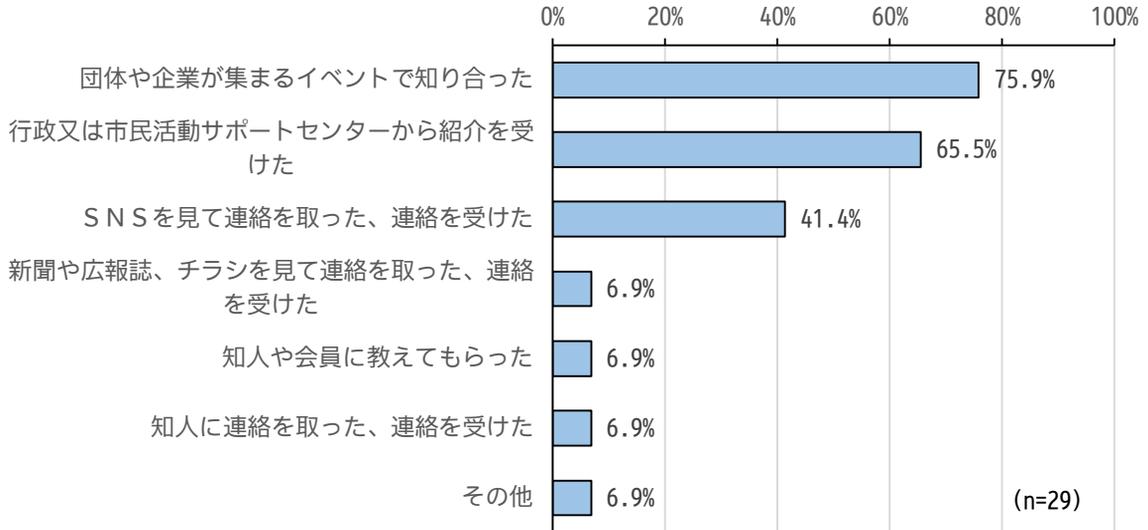
2割強の団体（個人）が「ある」と回答しています。



問18

問17で、交流や協働で活動をしたことが「ある」と回答した市民活動団体について  
交流や協働のきっかけとなった要因は何ですか？(複数選択可)

8割弱の団体(個人)が「イベントで知り合った」と回答しています。



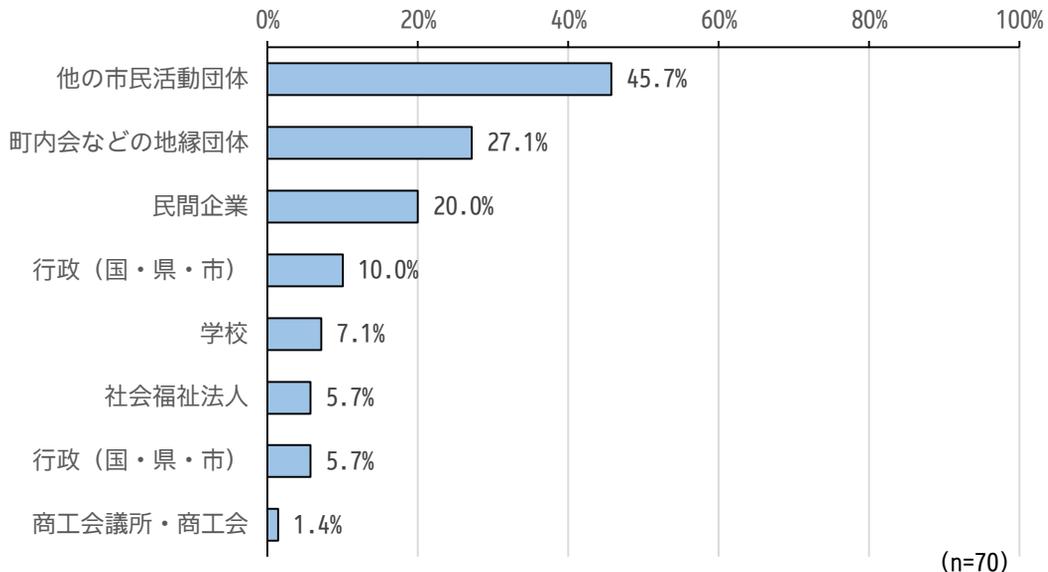
【その他】の主な内容

- 問いあわせ
- 助成団体の仲介

問19

問17で、交流や協働したことが「ある」「ないが今後したい」と回答した市民活動団体について  
交流や協働した(したい)相手先はどういった団体ですか？(複数選択可)

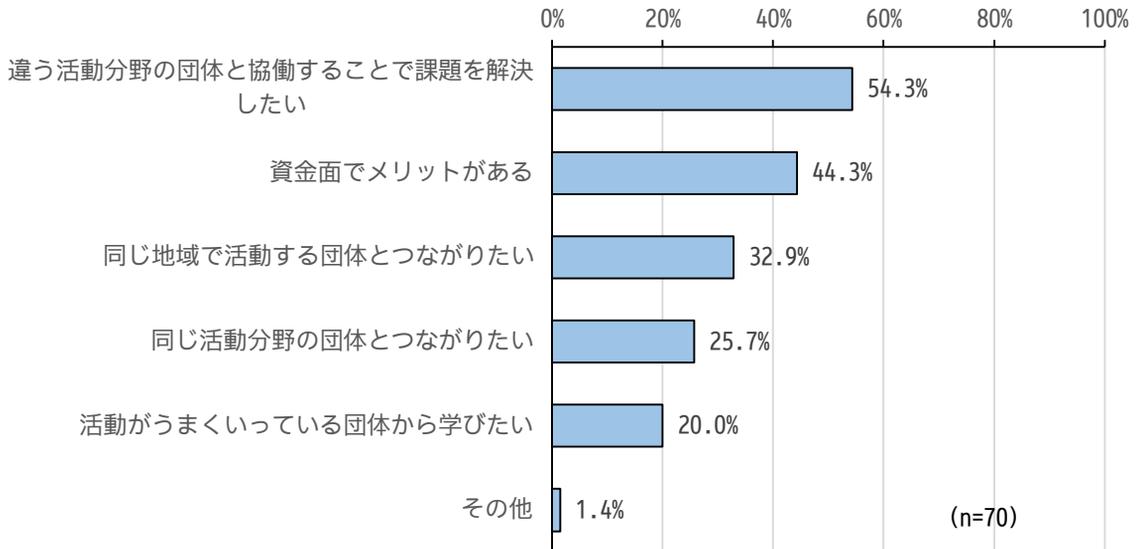
5割弱の団体(個人)が「他の市民活動団体」と回答しています。



問20

問17で、交流や協働したことが「ある」「ないが今後したい」と回答した市民活動団体について  
**交流や協働した（今後したい）理由は何ですか？**（複数選択可）

5割強の団体（個人）が「違う活動分野の団体と協働したい」と回答しています。



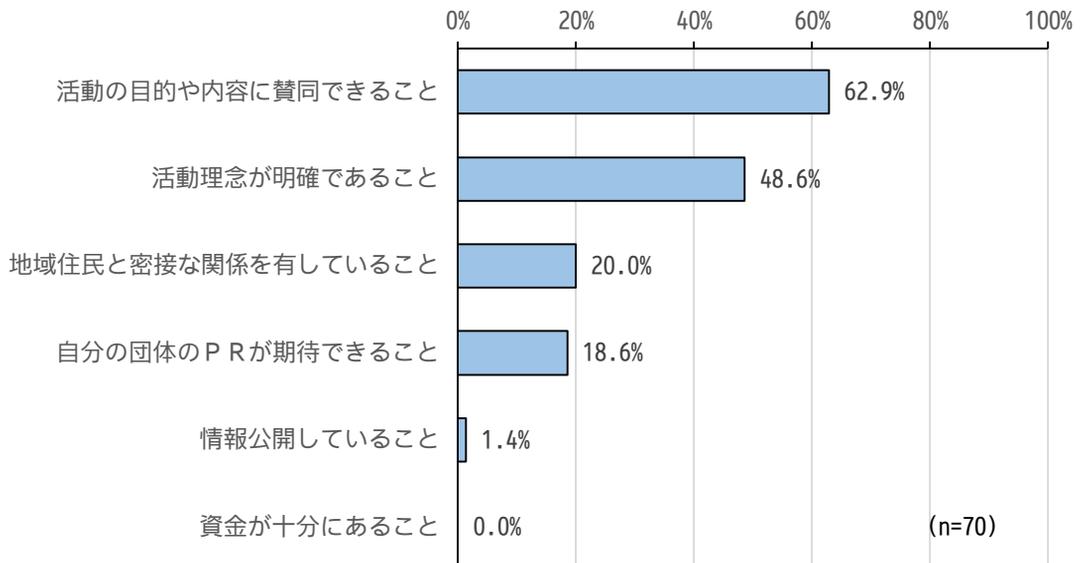
【その他】の主な内容

- 行政と協力して地球温暖化防止等に取り組んでいきたい

問21

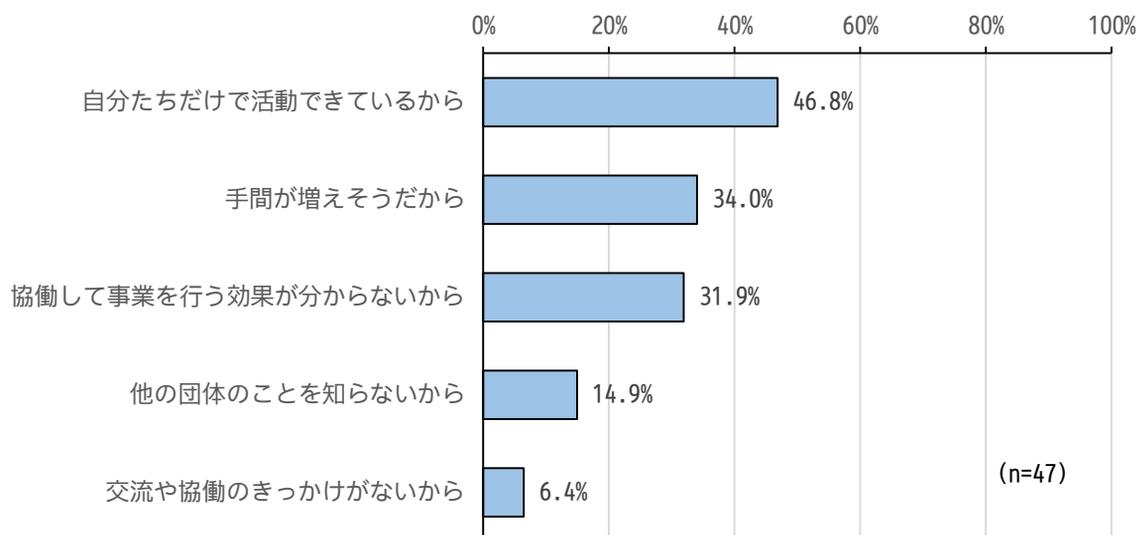
問17で、交流や協働したことが「ある」「ないが今後したい」と回答した市民活動団体について  
**交流や協働するうえで相手に求めるものは何ですか？**（複数選択可）

6割強の団体（個人）が「活動の目的や内容に賛同できること」と回答しています。



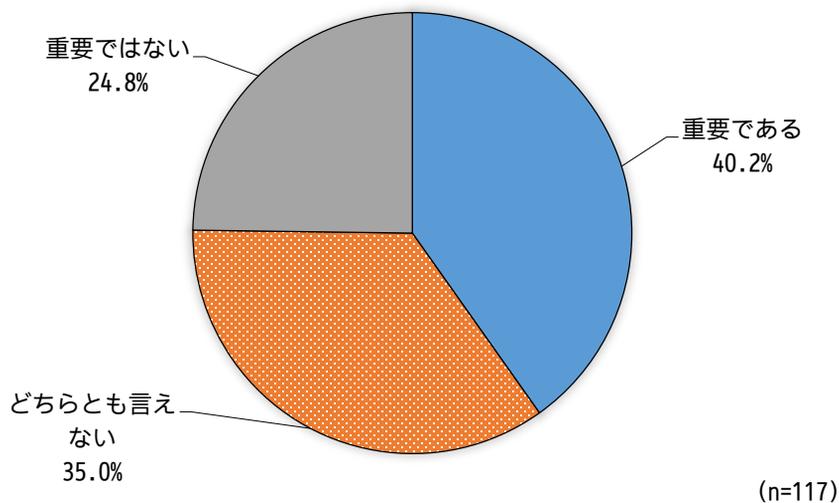
問22 問17で、交流や協働で活動したことが「ない、したいと思わない」と回答した市民活動団体について  
交流や協働しない（したくない）理由は何ですか？（複数選択可）

5割弱の団体（個人）が「自分たちだけで活動できているから」と回答しています。



問23 今後のまちづくりにおいて「協働」が重要だと思いますか？

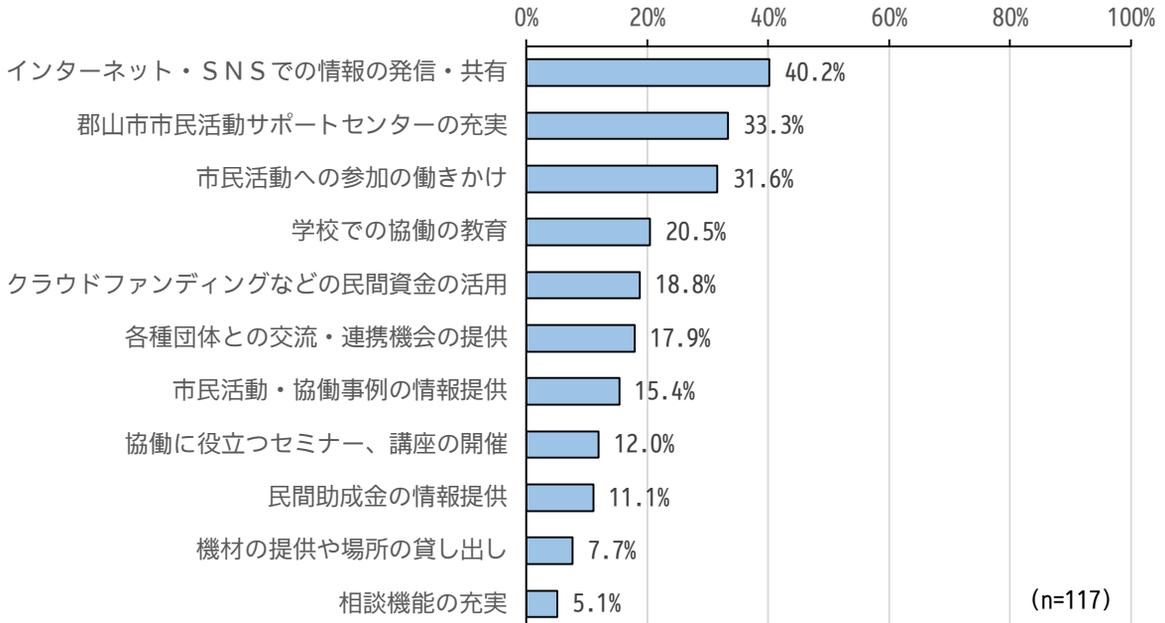
4割の団体（個人）が「重要である」と回答しています。



問24

## 協働のまちづくりの推進のため 行政が取り組むべきことは何ですか？（複数選択可）

4割の団体(個人)が「インターネット・SNSでの情報発信・共有」と回答しています。



問25

その他ご意見がありましたら自由に記入してください。

主な意見を抜粋し、掲載しました。寄せられたご意見は、今後の協働のまちづくりに活用させていただきます。

- 少子高齢化による孤立、孤独の課題は増加。人とのつながり、居場所が必要。コーディネートする人の育成は必要。
- 子育てしやすい環境づくり
- 高齢者が安心して暮らせる場所、仕組みづくり
- 人口減少によりこれまでの枠組み、制度の在り方そのものを再構築する必要がある、特に行政にその意識を持ってほしい。